

赤羽に《縁日酒場・的矢》

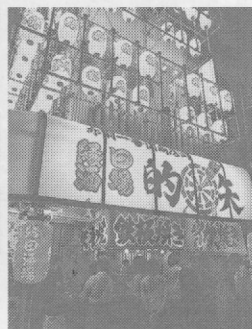
浜倉氏プロデュース店舗

浜倉総研（東京・有楽町）の代表で街と店の再生を手掛ける浜倉好宣氏がプロデュースした新業態「縁日酒場の矢（まこや）」が7月15日、グラントオープンした。場所はベタな空気感が色濃く残る赤羽一番街商店街だ。店の周りに足場パイで組まれたやぐらにはたくさんの提灯が飾られ、「縁日」「祭り」という言葉がピッタリの外観に仕上がっている。この業態はブラッシュアップしながら多店舗化する計画だ。

オーナーは小岩、新宿、上野など「ト口函」を5店舗展開する夢小路普及商会（東京・上野、鈴木総社長）。連棟の物販店

のうちの1店で、漬物や乾物を扱う店の住居を含む3層を丸々借りて飲食店として再生したもの。「再開発の話が流れ、大家さんが貸す気になってくれた。商店街で踏ん張っていた昔ながらの商店がポツリポツリと出て行ってしまう場所にしたかった（浜倉氏）という。

倉氏）という。昔のビルの内装が残った店内は1階が縁日の屋台風、2、3階が町内会の人々の家で食べているような雰囲気。グラントオープンに先立つ14日には、商店街をはじめて地元の人達を招待して料理や酒を振る舞った。料理は、〈浪速のイカ焼き〉399円をはじめおにぎりを平たくつぶして焼いた〈おにぎり煎餅〉299円、〈ネギ焼きそば〉499円、〈牛すじ焼き飯〉499円など、ほぼ鉄板焼き。フライもその店名にふさわしいベタなものが多く、〈鶏レバカツ〉2本399円（ベゼリ1フライ）299円（ハムカツ）499円など、を揃える。また、〈牛すじ煮込み〉399円や〈甲府鶏モツ煮〉399円も。飲み物も下町を意識したベタなラインアップで〈ホイスハイボール〉〈天羽焼酎ハイボール〉〈神田ハイボール〉〈的矢ハイボール〉〈ハチ葡萄酒赤ハイボール〉が399円、〈キン宮ウキスキー〉が299円。ビールは〈エビス生〉が499円。



「再開発の話が流れ、大家さんが貸す気になってくれた。商店街で踏ん張っていた昔ながらの商店がポツリポツリと出て行ってしまう場所にしたかった（浜倉氏）という。

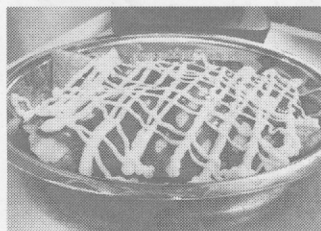
今回の店は「ト口函」の向かいだったため魚系料理を抑えたという、店舗展開の段階ではもう少し魚料理を加えブラッシュアップしていく計画だという。客単価2500円、月商1300万円を想定。営業時間は16時30分～23時（土日祝15時30分）、金土祝前々24時。東京都北区赤羽1-22-4、03-59397787。



①店内も屋台のベタな雰囲気だ
②インパクトのある外観



2枚の鉄板で回す



豚平焼

タなものが多く、〈鶏レバカツ〉2本399円（ベゼリ1フライ）299円（ハムカツ）499円など、を揃える。また、〈牛すじ煮込み〉399円や〈甲府鶏モツ煮〉399円も。飲み物も下町を意識したベタなラインアップで〈ホイスハイボール〉〈天羽焼酎ハイボール〉〈神田ハイボール〉〈的矢ハイボール〉〈ハチ葡萄酒赤ハイボール〉が399円、〈キン宮ウキスキー〉が299円。ビールは〈エビス生〉が499円。